

駅頭宣伝に参加しよう!



毎月9日憲法守ろう宣伝
毎月24日消費税反対宣伝
仲間の仕事・暮らし・家族を守る為、駅前での宣伝を行っています。
官邸前まではちょっと遠いな...そんな仲間のご参加お待ちしております!

けんせつ 清瀬久留米

発行所

東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙

〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17

TEL 042-473-8751

FAX 042-473-8753

発行者 尾 芦 富 雄

編集者 木 田 恵



後継者不足を克服しよう

7月4日〜5日分会経験交流集会

今期、支部後継者対策部長に就任し、昨年参加した分会活動経験交流集会に参加しました。私を含め支部からは合計6名が参加しましたが、その中でも、今年青空分会から後継者対策部長としてあがってくれた石塚さんの参加がとて大きかったと思います。



石塚さんは第一回目の部会で出された後継者オリジナルTシャツの作成について、業者の選定からデザイン作りまで、先頭に立って取り組んでくれました。そして、今回の交流集会で

その中で、青年・後継者世代の担い手不足の問題は、他支部も同じで、それをどう克服し若手を選出していくか議論しました。東京土建は分会があつての組織だと思ひます。各分

昨年開催時はゲリラ豪雨に見舞われ、あわや中止かと思われほどの天気でした。今年も天候に恵まれた提灯行列が行

息子と参加『黙っていてもダメ』

6・30 東久留米市民大集会



息子には歩きながら話をしました。初めは大きな声で発声してましたが、次第に声が小さくなったので「どうした?」と聞くと「みんなが見て

戦争法案反対の一点で共闘を 7.5清瀬アピールウォーク

日本各地で連日の様に取組まれている、戦争法案反対、安倍自公政権ストップのアピールウォークが清瀬でも行われました。当日は雨の予報で、その通り雨。しかし、約170人も参加。



年配の方が多いものの、子ども連れの若い方も目につきました。特に、清瀬わかば会の若者達の、ギター、打楽器を鳴らしながらの行進は、目を引きまします。原発事故以降、労組、政党を中心とした運動が、市民、学生達が主体的に取り組み運動へと発展してきています。

7・8 予算要求対都行動

生活危機突破中央総決起大会

後継者 対策部長 笹原康弘



全国各地から4833人の建設の仲間が日比谷に集まり、支部からは22名が対都行動から参加しました。朝からどんよりとした空、デモ行進出発時には雨が降り出しましたが、全国の仲間の力強い団結ガンパローで元気に出発

担当書記

明るくて楽しい シニア友の会



7月5日埼玉県嵐山町へ向け本田書記のガイドで清瀬駅前を8時半出発しました。参加者40名。

関越を通り、一時間程で県立嵐山史跡博物館へ。ここは城址あとで、広大な林の中に建てられており、四季折々草花が咲く自然豊かなところです。

役員はBBQの食材の調達にスーパーへ、我々は産直市場でトウモロコシの試食、清瀬のぼうが旨いんじゃないか、など買い物を楽しみました。前日までは雨で天候が心配されたが当日はくもり空、幸いでした。

会場に着き、炭をおこすのに手間どりはしたものを

を楽しみました。

7月11日、12日の2日間、山梨県にある「清水国明の森と湖の楽園」で本部青年部主催のサマーキャンプが開催され、全体で121名、支部からは15名で参加しました。

昼間は子供向けの木工教室や、釣り遊びなどの企画があり、夕方からBBQ交流。各支部が様々な食材を持ち寄り、他支部の仲間とも交流がすすみます。大きなキャンプファイアーに皆で点火し、ゲームや花火

真夏の夜の交流会 青年部サマーキャンプ

お腹も満足、たっぷり遊んで夜が更けると、恒例の腕相撲大会が始まります。腕つぶしに自身のある青年部員達が皆の見守る中、トーナメント形式で競います。清瀬久留米支部の三浦青年部書記長は決勝まで進み（結果は残念ながら2位）、会場は大盛り上がりでした。

初参加の仲間あり、家族連れでの参加もあり、楽しい時間を一緒に過ごしました。



担当書記



上…キャンプファイアーを囲み、親子で花火
左…白熱した腕相撲大会



嵐山史跡博物館の展示は工夫があつて興味深い

地域から声を上げて 東久留米 憲法駅宣



仕事帰りに署名してくれた建設の若者

「戦争法案反対」「憲法守れ」の声が駅に響きました。毎月9の日は、清瀬・東久留米の両駅で宣伝行動を行つていきます。7月9日雨の中、東久留米駅に4人の仲間が集まり、チラシ入りのティッシュを配り、署名を呼びかけました。

7月15日に安倍首相は、集団的自衛権を盛り込んだ安保法案を衆院特別委員会

で強行採決し、翌日衆院を通過しました。権力の暴走に歯止めをかけるのが立憲主義です。解釈改憲は立憲主義を否定しています。だから絶対に許してはいけません。

湧水

故郷を離れ35年余り、我が故郷新潟の阿賀町、風光明媚な所です。特に何があるという所でもありませんが、山と川と田んぼが織りなす風景は、何とも言えず素ばらしい所です。

よくぞこんな山奥に先人は住み、生活を営んで来られたものだと思いま

す。雪も多く降り、四方を山に囲まれた厳しい自然の所です。生活をして、私たちを残してくれた先人に、本当に感謝とともに尊敬をしています。



空青く緑多き我がふる里

子どもがいないので、あと何年かで集落がなくなってしまうのではないかと心配です。故郷を離れてみて、故郷の良さを感じ、私自身50歳を過ぎた今、何が出来るのかを考えています。それはまだはつきりとは考えませんが故郷のためになりたいと思つて

います。常に自然は、私たち人間や動物に惜しみなく幸をあたえて来ました。私たちが人間は自然の恩恵を受けて豊かになつて来ましたが、しかし人間は

その自然を一時にして破壊してしまう原発を使用しています。大切な故郷、地球を原発でなくしたくない。

執行委員長 北島晃

松竹分会 阿部明子

ご存知ですか？東京土建が設立した
一般社団法人 リフォームパートナー協議会
(通称RECACOリカコ)



国交省が進める「リフォーム事業者団体登録制度」に対応し、東京土建が設立した団体です。地域で働く事業者がシェアの多くを占めるリフォーム工事を、大手企業に独占させるわけにはいきません。リフォーム工事を請負う仲間が、「入りやすい・仕事に活かせる」事業として展開していきます。仲間の仕事起こし運動をより積極的にすすめる組織として位置付けて取り組んでいます。

全都で350人が会員登録、営業・技術技能のスキルアップの為に会員向け講習会も随時開催しています。会員が利用できる建築資材の購入斡旋も始まり、ますます充実してきました。ホームページなども活用し宣伝しています。

ご興味を持った方は支部事務所までご連絡下さい。多くの仲間に活用して貰えるよう、広めていきましょう！！